

以下 汚れあり

破損あり

1/29

粉本稿行原

秀雄菅江真澄公印真筆

全

巻36



M
5
(36)

粉本稿
行原

秀雄管江真澄公羽真筆

戰國法人
聚盛教育
圖書本

粉本稿行



美濃國
 一鋪筥とて二本ありて
 命のありひひきき
 管より源三位賴政死前
 りて化鳥射すといひ
 里人のいひてまゝり

又その迎
 び乃らつる井ありて
 乃らつる中ありて
 らりてされりて

ひしつみの
 らかてつと
 大畑を耕しぬ
 うりてされり
 らりてされり

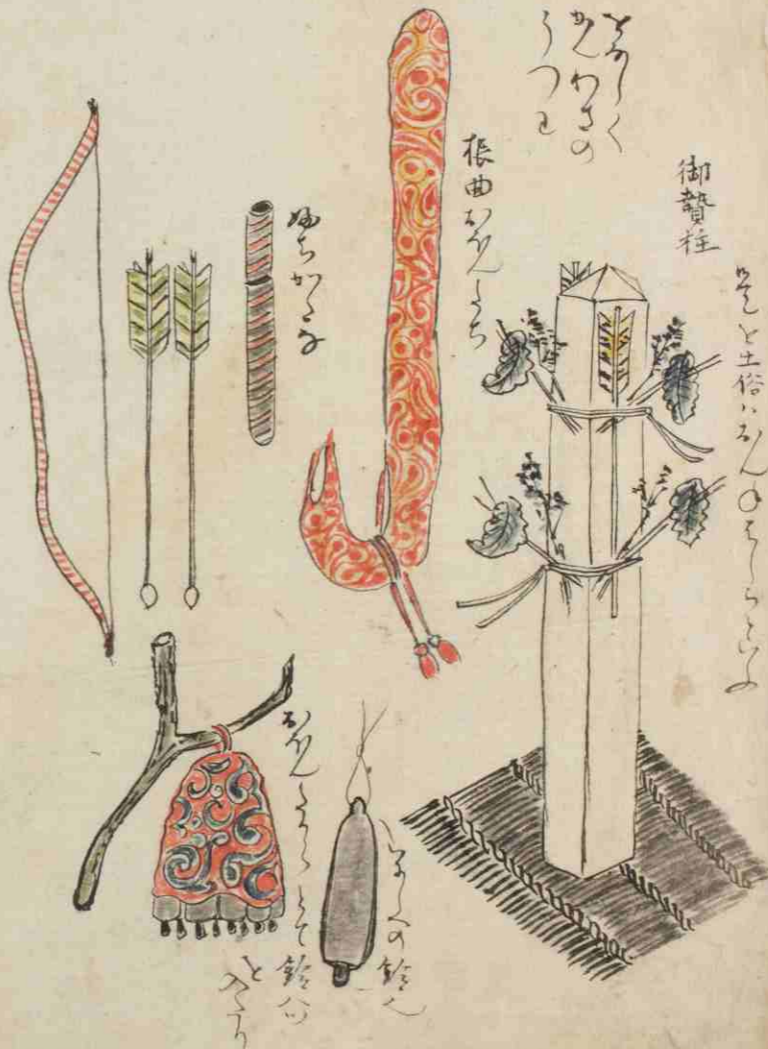
名前の玉の郡
 雲彩寺といふ寺あり
 松島市口末政の松島
 驛の鈴あり大サ圖の
 一分半の鈴を伴て
 又中半の鈴を伴て
 のつりやこつりや
 尾政のあはれ
 尾政



御誓程
 ことと土俗はふし
 のつりや
 のつりや

御誓程

ことと土俗はふし



張曲の

ゆらゆら

鈴

鈴

鈴

此の山は、
 雨の降るに
 ありては、
 外黒川を
 流す。

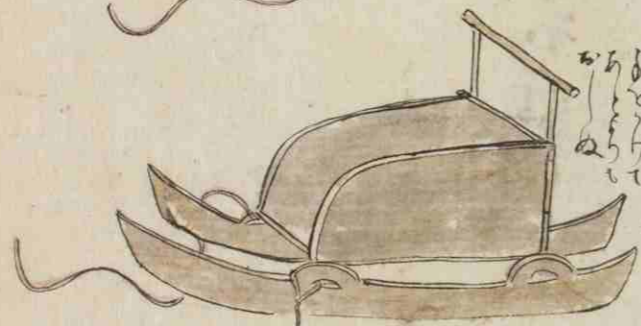
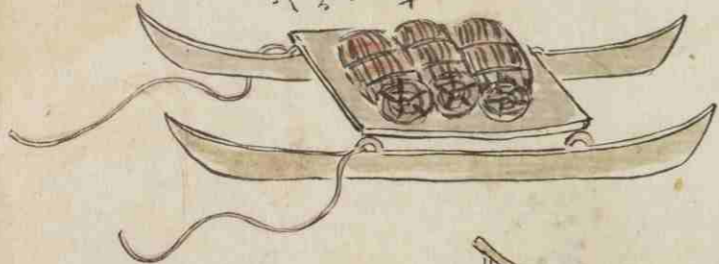


玉善寺の
 石作の雄元
 の...

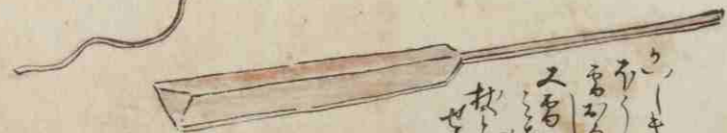




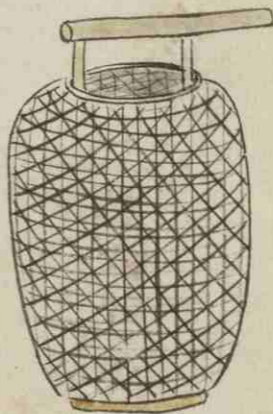
言車
ついで
式



そこせりして
人のりてひえ
かひしついで



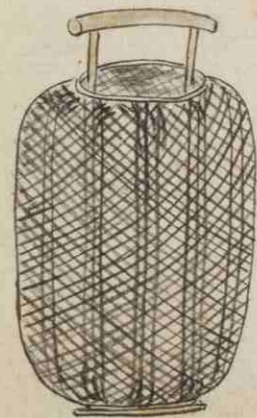
いしき
かき
言わ
又香
林の
せり



ありく
かき
つこち
灯
りて

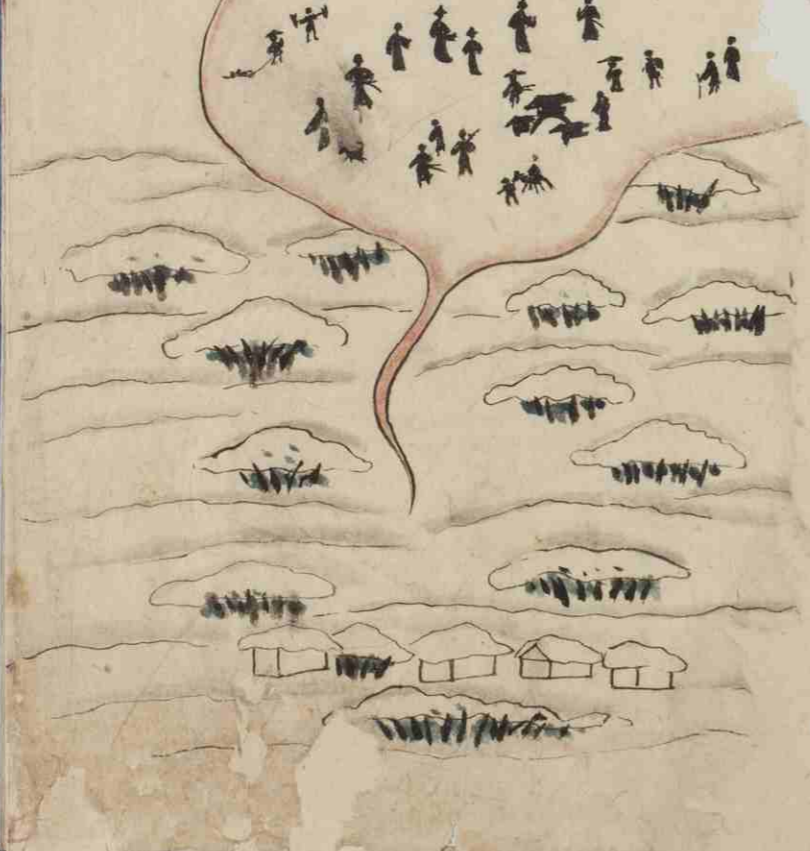
つこち
つこち
つこち

つこち
つこち
つこち





六のたぐふ部 釋書部
 黒は尾と心ありてし
 女部 檀時の子ころはとりの
 四部 正住のうへりり
 共くオヤの西
 後 藤野の西
 ありく者のを佐
 乃ころり陸月の
 さりり緒として
 山林寺アアア
 人のりりりりり
 屋を氣屋みひり
 ほとと仲のたもの
 越の中はの
 狐の森は
 宙人ののりりり



六のたぐふ部 一戸あり
 のりりりりりりりりりり
 つらりりりりりりりりりり
 貝りりりりりりりりりり
 ころりりりりりりりりりり
 りりりりりりりりりりりり





